

学術部おすすめ！読んでおきたい特集記事

デンタルダイヤモンド／2016. 6月号（中島副委員長 記）

○実践歯学ライブラリー

“歯肉・歯周複合病変の正体を探る ～臨床の暗黙知から形式知への変換”（高橋 慶壮）

＊岡山大学歯学部卒業、歯周病科を経て奥羽大学教授に就任された高橋先生です。歯内・歯周複合病変は、診断がどちらかに偏り難症例となっていることが多い。この特集では、E BMとNBMを踏まえ、歯内・歯周複合病変の難易度や予後の予測、分類、鑑別診断、治療法について著者の経験を加えて、臨床に役立つヒントを提示している。勉強になる内容です。

○新連載：知れば納得!! 総義歯治療のコツと勘どころ②～吸着下顎総義歯の床縁形態～

（山崎史晃）

＊下顎総義歯の床縁で頬棚の部分は圧負担部位なので、広く印象するようにと教育されてきた。しかし、実際の臨床では頬棚の頬側の粘膜の抵抗力は個人差が大きいので、外斜線を基準に広げると、「大きすぎる」「口を開けると浮く」などの訴えを経験します。文献的にも77%の症例で頬側の床外形は外斜線より内側です。しかしながら、外斜線という解剖学的基準ではなく、患者自身の機能運動を記録した印象が優れています。患者の閉口機能印象時の動きとしては、「うー」「いー」「開口」「閉口・嚥下」が良いとしています。

歯界展望／2016. 6月号（小野委員長 記）

○エンド Q&A——6 再治療・偶発症（監修 東京都開業 吉岡隆知）

＊このシリーズも6回目を迎えた。今回は次の7つの質問に答えている。

- Q MB2 ってそんなにたくさんありますか？
- Q イスマス（イスマス）の中は、何か処置をすべきですか？
- Q 間接覆罩はどのような場面で有効ですか？
- Q 形成中にファイルが折れてしまいました。どのように対応すべきですか？
- Q 穿孔しました。どのように対応すれば良いですか？
- Q 根管充填後あるいはクラウンセット後の不具合（痛み、腫れ、瘻孔の出現）には、どう対応すればいいですか？
- Q ペースメーカー患者に電氣的根管長測定器は使用できますか？

以上の質問が気になる方は、ぜひご一読下さい

ザ・クインテッセンス／2016. 6月号（岡崎副委員長 記）

○知っておこう！ドライマウス（山本 健）

＊口腔粘膜表面の乾燥所見としてコップの水で含嗽させ、その前後での潤いを観察する。また、粘膜の萎縮や過角化、平滑舌を含む舌乳頭萎縮、口角びらんなどは慢性的な乾燥状態の可能性がある。唾液分泌量低下をきたす原因として腺因性のものはシェーグレン症候群、放射線治療などで非腺因性は神経伝達系の失調、抗コリン作動薬等による副作用、心因性（抑うつ）などが挙げられる。後、口呼吸、持続的（習慣的）開口、外気・環境的要因などが考えられる。口臭、う蝕、歯周病、味覚障害とも関連しており全身状態を把握するうえでも重要な項目である。

○小児歯科／こんなときどうする？専門医の立場から（丸山進一郎）

＊今回は、GP が対応に苦慮するケース、小児専門医へ紹介することが望ましいケースについて述べている。その中で、次のような前岡大講師の岡崎好秀先生の話が紹介されている。「幼児が泣くことは仕方がないが、言葉がけは大切に、なるべくプラス思考の言葉がけをするとよい。たとえば“じゃあずいできているよ。ありがとうだね”など肯定的な表現を使い、“痛くないよ、ちょっとがまんしてね”などの負の言葉がけはしないように努める。そうすることで幼児はプラス思考になる。さらに、泣きっぱなしで帰すのではなく、笑顔で帰すように努力すると心に貯金をしてくれる。」“正の言葉がけ”と“心の貯金”はキーワードである。

歯科評論／2016. 6月号（居樹副委員長 記）

○特集／ルーペとマイクロスコープを上手に活用しよう—拡大視野における私の臨床

（河島紘太郎 須崎 明 他）

＊ルーペ、マイクロスコープ使っていますか。以前はマイクロスコープどころか、ルーペ（拡大鏡）もあまり一般的なものではありませんでした。しかし最近ではルーペはいろいろなものが発売され多くのドクターが使っていますし、マイクロスコープも徐々にその必要性を認識し、使う方も増えてきています。そういう時代になったために本特集が組まれました。ルーペとマイクロスコープをどのように使うか、またどのような利点や限界があるのか、そんなものはないと思っているドクターにこそ読んでいただきたい特集です。

○教科書には載っていない再根管治療の Keypoint マイクロエンド時代のガッタパーチャ除去

（吉岡俊彦）

＊根管治療の特集、よく歯科雑誌で見かけますね。その中で臨床でよく遭遇する処置、再根管治療時のガッタパーチャ除去について語られることはあまり見かけないと思いませんか。でもガッタパーチャの除去で意外と悪戦苦闘して、何かいい方法はないかと思ったことは一度や二度ではないはず。ここでは、再根治の時ガッタパーチャを取り残す危険性、意外と見えてない取残し、そしてその効果的な取り方を詳しく説明しています。あすからすぐ臨床に役立ちます！